

薬用植物園実習各施設の特色について

2025年度 漢方薬・生薬研修会薬用植物園実習受入施設の特色をご案内します。実習申込の参考とさせていただきます。

施設名	住所	特色	薬用植物の種類	1回あたりの定員	開催日	開催時間
北海道大学薬学部附属薬用植物園	北海道札幌市北区北12条西4丁目	日本薬局方に収載されている主要生薬ダイオウの国内初の栽培系統である北海道大(ホッカイダイオウ)を栽培展示中。当園以外での栽培株もほぼなく、他では見ることができない。	約300	15	6月28日	10:00～12:00
北海道科学大学薬用植物園	北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1	北方系薬用植物を中心に約120種を栽培しています。コンパクトに纏められた園内には、階段や段差はなくスロープを設置しています。標本展示コーナーには、生薬標本の他、傷寒論、本草綱目、千金方などの古典医学書や本草書などの展示を行っています。	約120	10	6月7日 9月6日	10:00～12:00
北海道医療大学薬学部附属薬用植物園	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	本学薬用植物園は薬学系大学の中で最も北に位置しております。全敷地面積は標本園と栽培園で3,900㎡あり、主に北方系の薬用植物を中心に保有しております。	約190	5	5月24日 8月30日	13:30～15:00
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター北海道研究部	北海道名寄市宇大橋108-4	標本園やアイヌ民族の有用植物園では、寒冷地に生育する薬用植物等を植栽し、展示ラベルを設置しております。また、薬用植物の国内栽培推進を目的に、医薬品原料に適した品種の育成、栽培技術の開発および生産地の支援に取り組みしています。	約300	15	6月28日 8月16日	13:00～16:00
東北医科薬科大学附属薬用植物園	宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1	「生薬」研究の材料供給と同時に、薬用植物に直接触れることのできる施設として実習等に活用。東北地方の気候、環境下で生育可能な薬用植物を中心に現在、約350種類を生育。	約350	50	5月25日 9月21日	13:30～15:30
ソムラ漢方記念館・薬用植物見本園	茨城県稲敷郡阿見町吉原 3586	漢方記念館には生薬標本の他、漢方の歴史パネルや古医書なども展示されています。	約300	25	5月24日 9月27日	13:00～16:00
国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター筑波研究部	茨城県つくば市八幡台 1-2	国内唯一の薬用植物の総合研究機関で、農学、化学、薬学それぞれの分野の専門家を有し、4,000系統以上の植物を維持、保存している。シャクヤク、ボタン、ハトムギ、マオウ、トチュウなど。	約4,000	10	5月17日	10:00～12:00
国際医療福祉大学大田原キャンパス薬学部 薬用植物園	栃木県大田原市北金丸2600-1	薬学棟に隣接した敷地にあり、国内外の薬用植物約150種類を栽培しています。園内では漢方薬の構成生薬や民間薬その他医薬品原料となる基原植物を見ることができます。樹木園のほかに温室が設置され、薬学部生の教育に活用されています。	約150	15	5月24日	9:00～12:00 13:00～16:00
慶應義塾大学薬学部附属薬用植物園	埼玉県さいたま市緑区上野田600番地 浦和校舎	日本薬局方収載生薬の基原植物をはじめとした薬用植物を中心に、香辛料、染料、繊維原料など有用植物を植栽展示している。観察会では地下部の掘り上げなどを行い、通常の展示では見られない部位の感触や香りを感じることができるようになっている。	約800	25	5月24日	13:00～15:00
城西大学薬用植物園	埼玉県坂戸市けやき台1-1	城西大学薬用植物園は西に秩父の山並、南にはゆったりと流れる高麗川の流域に位置する風光明媚なところです。薬用植物につきましてはSNSをご参考ください。	約200	10	5月17日 9月6日	13:00～15:00
日本薬科大学・薬用植物園	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281	さいたま市北部のクヌギ・ナラの自然林下の植生を活かした園でセンブリやヤマユリなどが自生する。	約100	20	6月29日	10:00～12:00 14:00～16:00
東邦大学薬学部附属薬用植物園	千葉県船橋市三山2-2-1	習志野キャンパスにある、約5,500㎡の広さを誇る薬用植物園には、薬局方収載植物の南園、ヨーロッパのハーブがあるメディカルハーブ園、民間薬植物の北園、薬木園、温帯・熱帯の薬用植物を育てる温室があり、多様な植物が植栽されています。	約540	25	9月6日	13:00～17:00
日本大学薬学部薬用植物園	千葉県船橋市習志野台7-7-1	局方生薬の基原植物のほか、薬学科創設時からの生薬標本および生薬標本を保有している。ウラルカンゾウの栽培に力を入れている。	約1,000	10	未定	未定
東京理科大学薬学部薬用植物園	千葉県野田市山崎 2641	陽地性植物見本品は88の小区画に分かれ、見学者が多い場合でも植物のそばで説明を聞くことができる。日本薬局方の改正に合わせて随時説明書きを設置し、特に薬用に関する知識を深められるように工夫されている。	約900	15	5月10日 9月6日	13:00～16:00
昭和医科大学(旧:昭和大学)薬学部薬用植物園	東京都品川区旗の台1-5-8	都心にある非常に小さな薬用植物園です。植物は区画を作らず、回遊庭園風に栽培しています。特徴的な薬用植物として、本学の宮坂貞名教授が開発したイリノテカンのもととなった、カンプトテンを含有するキジュなどがあります。	約120	10	5月18日 9月21日	9:00～11:30(5/18) 13:30～16:00(5/18) 9:00～11:30(9/21) 13:30～16:00(9/21)
東京都薬用植物園	東京都小平市中島町21-1	屋内でも数少ないケンとアサの植栽場所。林地ではセリバオウレンの群生地があり、コセリバオウレンやキクバオウレンとの比較を確認できる。春から夏はシャクヤクやボタンやヤマユリなど花を楽しみ、秋にはナツメやアケビやザクロなど果実の観察ができる。	約750	20	5月31日 9月7日	10:00～12:30(5/31) 13:30～16:00(5/31) 10:00～12:30(9/7)
東京薬科大学薬用植物園	東京都八王子市堀之内 1432-1	薬用植物園として都内最大級の面積を有し、一般にも公開されている。薬効や主要成分の構造式を盛り込んだ独自の植物説明板を掲出している。また、比較を容易にするため、近縁種や外見が類似するものを近接して配置している。	約2500	15	5月31日 9月27日	13:00～15:00
昭和薬科大学薬用植物園	東京都町田市東玉川学園 3-3165	昭和薬科大学薬用植物園は、総面積1万8,000㎡と薬科系大学でも全国有数の規模を誇り、温室、草本植物区、木本植物区、水生植物区、湿生植物区および園場を有している。四季ごとに、薬用植物を中心に観察することができます。	約800	30	5月18日 9月21日	13:00～15:30
明治薬科大学薬用植物園	東京都清瀬市野塩2-522-1	園場面積920平米と小さいながらも日本薬局方収載生薬の基原植物を中心に薬草・薬木や類縁植物が植栽展示されています。併設されている明薬資料館でジャコウジカの剥製や木乃伊など貴重な動物生薬や薬学資料等も見学できます。	約950	12	5月24日 5月31日 9月27日 10月4日	10:00～12:00

施設名	住所	特色	薬用植物の種類	1回あたりの定員	開催日	開催時間
帝京大学薬用植物園	神奈川県相模原市緑区寸沢嵐1019-1	山と湖の近くにある帝京大学の薬用植物園は、コンパクトな敷地内に、薬用植物観察がしやすいよう植栽しています。また管理室には非公開の生薬標本が多数あるので、時間があれば展示をご覧いただくことができます。	約500	10	5月11日 9月28日	13:00～16:00頃
北里大学薬学部附属薬用植物園	神奈川県相模原市南区北里 1-15-1	日本薬局方に記載される生薬の基原植物は、効果効能ごとに植栽展示を行い、理解しやすいように配置しています。特徴あるドーム型温室ではガラナなどの貴重な植物も展示しています。	約900	16	6月8日 10月12日	10:00～11:45(6/8) 13:15～15:00(6/8) 10:00～11:45(10/12) 13:15～15:00(10/12)
富山県薬事総合研究開発センター 薬用植物指導センター	富山県中新川郡上市町広野2732	当センターの設置目的は、県内の農家へ薬用植物の栽培普及を図り、医薬品メーカーへの優良な漢薬原料の供給支援と中山間地の振興です。多数のシヤクヤク園芸品種から選定した切花も可能な生薬「芍薬」の生産や、新たな栽培品目の研究に取り組んでいます。	約500	8	5月31日 9月6日	10:00～15:00
北陸大学薬学部附属薬用植物園	石川県金沢市金川町木3番地	本園は山手を開いて造成され、一部は自然のままの地形を活かした薬用植物園です。日本薬局方収載生薬の基原植物を中心とした見本園や温室があります。時折、野生動物も現れます。	約1,000	5	5月17日 9月6日	10:00～12:30
金沢大学医薬保健学域薬学類附属薬用植物園	石川県金沢市角間町	・生薬生産を目指した栽培研究施設です。薬草栽培株の生育状況や管理手順を、季節に応じて解説します。 ・里山エリアでは北陸の自生植物を、薬用の如何に問わず解説します。 ・見本園は他施設と比較して見劣りしますので、種類を勉強されたい方には不向きです。	約20	10名(3名以上で実施)	5月24日 10月25日	13:30～16:00
内藤記念くすり博物館附属薬用植物園	岐阜県各務原市川島竹早町1	園内は薬草園、薬木園、温室(熱帯有用植物)から構成されている。日本薬局方収載植物園を中心として、民間薬、染料、芳香植物など幅広く植栽している。	約700	20	5月25日 6月15日 9月28日 10月5日	10:30～12:30
金城学院大学薬用植物園	愛知県名古屋守山区大森2-1723	局方収載生薬を中心に比較的コンパクトに、近縁の植物を比較しやすい配置で栽培しています。	約200	12	6月1日 9月28日	10:00～12:30頃
名古屋市立大学大学院薬学研究科薬用植物園	愛知県名古屋瑞穂区田辺通3-1	当園は薬用植物や生薬についての生きた知識を学ばせる教育目的に設置されています。薬局方に記載されている生薬の原料となる植物を中心に、代表的な薬用植物の収集と栽培を行っており、実物を継続的に観察できる環境を作り、教科書だけでは学べないことも学べる学習環境を提供しています。	約400	18	4月26日 11月1日	16:00～17:30
鈴鹿医療科学大学薬学部附属薬草園	三重県鈴鹿市南玉垣町3500-3	小ぢんまりとした薬草園で暖地系薬用植物を栽培しています。区画ごとの地植えと一部は鉢植えで栽培しており、観察しやすく展示しています。無農薬を心がけている都合で雑草が茂った状態です。	約100	10	6月21日 6月22日 10月25日 10月26日	10:00～12:40
立命館大学薬学部薬草園	滋賀県草津市野路東1-1-1	薬学教育に関する重要植物を中心に約100種を栽培している。薬用のカンゾウ属植物と非薬用のカンゾウ属植物、エフェドリン含有マオウ属植物とエフェドリン非含有マオウ属植物に関しては、多数の種及び系統を栽培保存しているのが特徴である。	約100	3	5月10日 6月21日 9月27日	13:00～16:00
京都薬科大学附属薬用植物園	京都府京都市伏見区日野林 39	京都薬科大学本校地(京都市山科区御陵)から南に7kmほど離れた場所に位置します。園内では、日本薬局方収載生薬の基原植物を中心に、有用植物を展示植栽しています。	約800	8	6月7日 10月4日	14:00～16:00
武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園	京都府京都市左京区一乗寺竹ノ内町 11	当園は94,000㎡の敷地を有し、大きく8つのコンセプトを持つエリアに分けて植栽展示をしています。実習では、日常的に観察することが困難な薬用植物の地下部を教材として展示することや、五感をフルに活用して生の薬用植物の香りや味を楽しむ体験を重視しています。	約2900	40	6月15日 9月21日	9:30～11:30(6/15) 13:30～15:30(6/15) 9:30～11:30(9/21) 13:30～15:30(9/21)
日本新薬株式会社 山科植物資料館	京都府京都市山科区大宅坂ノ辻町 39	回虫駆除薬サントニンの原草ミゾモギを欧州から導入、育種・作物化した研究所が起源の薬用・有用植物園。約3,000種の植物を所有し、JP収載生薬の基原植物では160種ほどを栽培・展示している。	約3,000	30	未定	未定
大阪医科薬科大学薬用植物園	大阪府高槻市奈佐原4-20-1	大阪府高槻市阿武山に広がる緑豊かなキャンパス内に、800種以上の薬用植物を保有・栽培している実物体験型の自然博物館です。生きた薬用植物をじっくりと観察してみましょう。	約800	10	5月17日 10月18日	13:00～15:00
近畿大学薬学部薬用植物園	大阪府東大阪市小若江1-9-7	近鉄長瀬駅から大学へ向かう住宅街の中にある小さな植物園です。春～秋の平日は開放しており、来園者の多くが近隣住民となっています。薬用植物以外の身近な植物も取り入れ、一般の方でも楽しめるような植物構成を意識しています。	約380	10	5月31日 10月18日	10:00～12:00
兵庫医科大学薬学部薬用植物園	兵庫県神戸市中央区港島 1-3-6	海に近いことから、ミカン科の植物など、潮風に強く常緑の植物を海側に配置しています。面積が狭く、植物数が少ないため、多くの植物を見学されたい方には不向きかもしれません。園内は砂利を敷いてあり、足元が不安定です。	約50	10	未定	未定
神戸学院大学附属薬用植物園	兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬518	キャンパスに在りながら、高木の樹林に囲まれ、ミツガシワの群生する池もある、自然環境豊かな薬用植物園です。山野草や果樹も多種ありますので、園内をゆっくり散策しながら薬用植物を観察してもらえます。	約200	12	6月14日 10月5日	10:00～13:00
神戸薬科大学薬用植物園	兵庫県神戸市東灘区本山北町4-19-1	本園は六甲山の麓に位置する見晴らしの良い植物園です。敷地面積は2,916㎡、日本薬局方収載の基原植物を含め、約1,000種類の植物を保有しています。	約1,000	18	5月18日(秋期にも実施予定、日程未定)	10:00～12:00頃
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科附属薬用植物園	岡山県岡山市北区津島中1-1-1	日本薬局方に記載されている重要生薬の基原植物をはじめ、日本の民間薬、ハーブやスパイスとして利用される植物など一般に馴染み深いものや熱帯・亜熱帯植物まで約500種類の植物を栽培している。	約500	5	5月17日 9月27日	14:00～16:00
広島国際大学薬学部附属薬用植物園	広島県呉市広古新開5-1-1	当園は見本園として、日本薬局方に記載されているカンゾウ、サイコ、トウキなどの生薬の基原植物を中心に代表的な薬用植物を展示している。また、水生植物コーナーには、コウホネなどを植栽している。	約120	10	5月31日 10月4日	14:00～16:00

施設名	住所	特色	薬用植物の種類	1回あたりの定員	開催日	開催時間
徳島大学薬学部附属薬用植物園	徳島市国府町日開字北 536番地の3	漢方薬構成生薬の基原植物を含む国内外の薬用植物と絶滅危惧植物、ならびに研究用植物を、約1万平方メートルの圃場のテーマ別に分けた10区画で栽培している。	約700	15	5月24日 10月4日	14:00～16:00
松山大学薬学部附属薬用植物園	愛媛県松山市御幸1丁目 378-1	2007年に設立された総面積1,806㎡(テニスコート約7面分)の薬用植物標本園である。園内には栽培圃場、温室、管理棟があり、日本薬局方収載生薬の基原植物をはじめ、熱帯、亜熱帯植物を含む多種多様の薬草・薬木を栽培している。	約400	8	5月31日 10月11日	13:00～16:00
九州大学大学院薬学府附属薬用植物園	福岡県福岡市東区馬出 3-1-1	5月の観察会時には、ケシの開花が観察できる。	約50	25	5月10日 10月18日	10:00～12:00
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科附属薬用植物園	長崎県長崎市文教町 1-14 長崎大学文教キャンパス	日本薬局方収載生薬の基原植物をはじめ、多種の植物を植栽し、四季折々の植物に接することができます。更に、野生種としては長崎県内では見られない植物も育てています。「シーボルト記念植物園」を併設し、ライデン大学より寄贈された「シーボルトゆかりの植物」も植栽しています。	約390	8	5月11日 5月18日 10月26日	13:00～15:30
熊本大学大学院 生命科学部 附属グローバル天然物科学研究センター 薬用植物園	熊本県熊本市中央区大江本町5-1	国立熊本薬学専門学校薬用植物園として昭和2年に開設し、旧細川藩の薬園(善滋園)に関連するモクゲンジ、テンダイウヤク、サンシュユ、サンザシ、ニンジンボクが生育しています。また、地域野生植物保全拠点園に認定されており、絶滅危惧植物の保全に取り組んでいます。	約1,000	20	5月24日 6月21日 9月6日 10月18日	13:00～15:30
九州医療科学大学薬学部附属薬用植物園	宮崎県延岡市吉野町1714-1	生薬の生産を目指した栽培試験場を有しているのが特徴。トウキ、ミシマサイコ、ポウフウ、シャクヤク、ムラサキは栽培方法の確立のために試験栽培中のものである。秋は掘り上げの体験と収穫した生薬の観察も可能。	約300	10	5月11日 6月15日 9月21日 10月5日	10:00～12:00
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター種子島研究部	鹿児島県熊毛郡中種子町野間松原山17007-2	南方系薬用植物を中心に、絶滅の恐れのある種、他地域での栽培が困難な種等について保存栽培や栽培研究を実施しています。敷地内では建物・圃場の防風対策として自然林がそのまま残されており、その環境の中で薬用植物が生育し、保存されています。	約1,000	5	5月31日 10月11日	13:00～16:00